

# Cisco Crosswork ワークフローマネージャ

---

# 目次

製品の概要	3
機能とメリット	4
相互運用性およびコンプライアンス	5
ライセンス	5
モニタリング	6
保証情報	6
Crosswork ワークフローマネージャ向けのシスコのサービス	6
詳細情報	6

## Crosswork ワークフローマネージャ：自動化設計と操作をより緊密に連携

大規模なネットワークでの変更の計画と適用は、ますます複雑な作業になっています。これには多くの要因が関係しています。デバイスは、機能、役割、およびベンダーによって異なります。自動化プロセスは、プロセス全体を通じてお客様をサポートする必要があります。お客様の変更管理プロセスでは、通常、展開されたデバイスのタイプとコンプライアンスを確認するためのネットワークスキャン、計画された変更の準備状況の検証、変更前後のネットワークのステータスのアーカイブなど、基本的な前提条件の検証が必要です。これらはすべて、ネットワークの更新を完了させるために重要な事項であり、お客様が手順を自動化および管理できる自動化ツールが必要です。目的は、プロセスを自動化し、リスクを低減することです。

### 製品の概要

Crosswork ワークフローマネージャ (CWM) は、ワークフローアクティビティを実行および管理するための信頼性の高いプラットフォームを提供します。システムの中核は、障害に対してワークフローを回復する機能です。

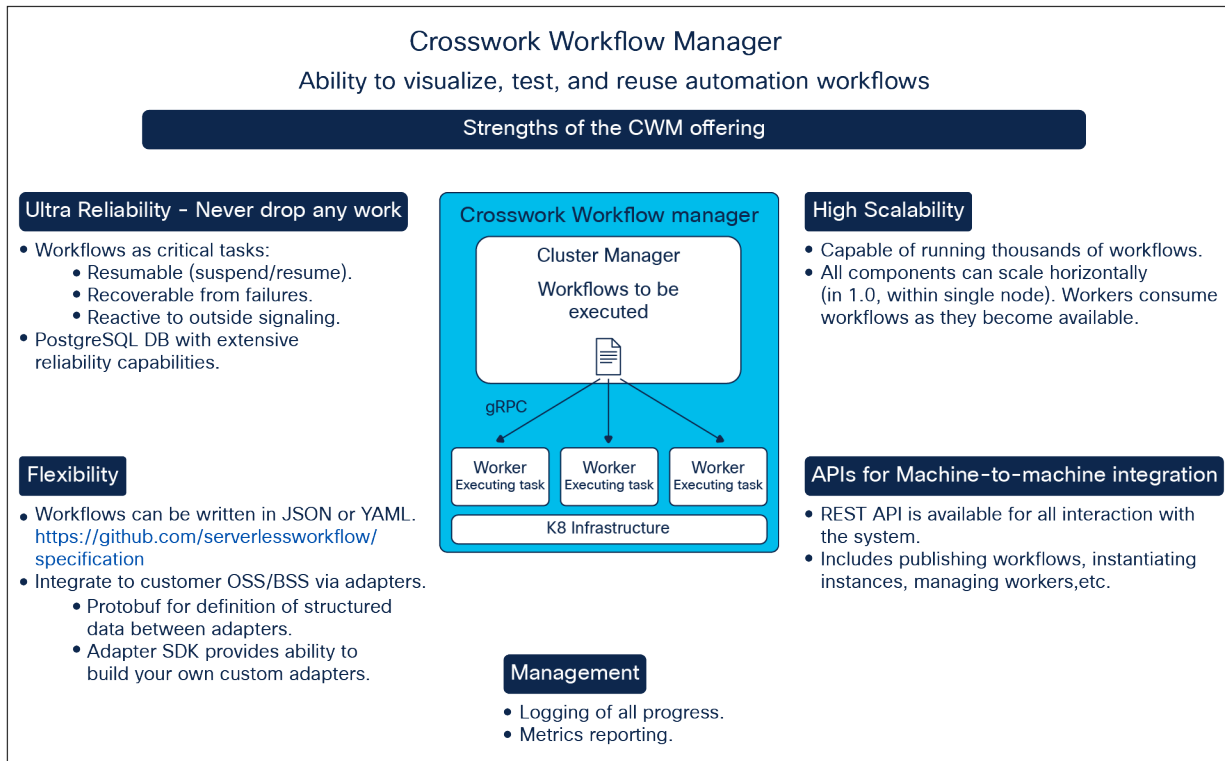


図 1. Crosswork ワークフローマネージャ - 概要

Crosswork ワークフローマネージャを使用すると、お客様は独自の自動化ワークフローを構築でき、環境内の既存の運用サポートシステム (OSS) および基本サービスセット (BSS) システムに統合することができます。これらの統合には、アダプターを使用します。Cisco® は、以下の 2 つのベースラインアダプタを提供します。

- お客様が NSO の機能を活用してネットワークデバイスへの変更のオーケストレーションができる、Cisco Network Services Orchestrator (NSO) 用アダプタ
- REST API をサポートする任意の外部システムでお客様が使用できる Representational State Transfer (REST) アダプタ

また、ソフトウェア開発キット (SDK) も提供しており、お客様またはパートナーは、環境に合わせて追加のアダプタを構築できます。

システムは Kubernetes に基づくクラウド ネイティブ インフラストラクチャ上に構築されているため、お客様はオープンソース拡張機能を利用して追加機能をもたらすことができます。

## 機能とメリット

表 1. CWM の機能とメリット

機能	利点
ワークフローのスケジューリングと管理プラットフォーム	数千のワークフローを並行して実行できます。
Graphical User Interface (グラフィカル ユーザ インターフェイス)	GUI は、ワークフローの操作制御、ジョブのスケジューリングと履歴の可視性、および管理アクティビティの制御を提供します。
サーバーレスワークフロー仕様に準拠したワークフロー作成	お客様は、運用上のニーズを自動化するワークフローを構築できます。サーバーレスワークフロー仕様は、そのようなワークフローを記述するためのドメイン固有の言語として使用されます。
ノースパウンド統合のための Swagger 対応 REST API	製品は REST API を介して制御できます。Swagger は、これらの API へのコーディングを容易にするために使用されます。
アダプタ : NSO	アダプタにより、デバイスの相互作用のために NSO を駆動するための統合が可能になります
アダプタ : REST	アダプタにより、REST 対応アプリケーションへの統合が可能になります。
アダプタ : カスタムアダプタを構築するための SDK	お客様は、既存の OSS システムへの統合を可能にするアダプタを構築できます。そのためにお客様が利用できるソフトウェア開発キット (SDK) を提供します。アダプタは Golang で記述されています。
高可用性 : ワークフローの回復可能性	ワークフローはシステム内の障害から回復可能です。
高可用性 : アクティブ/スタンバイプラットフォーム	ワークフロー マネージャは、アクティブ/スタンバイ構成をサポートし、アクティブなシステムの障害からの回復を可能にします。
管理 : ロールベース アクセス コントロール (RBAC)	管理者は、管理、ワークフローの作成、および操作を区別するセキュリティレベルを定義できます。

機能	利点
管理：アクティビティロギング	ロギングは、組み込みの MinIO および Grafana Loki コンポーネントを通じて利用可能になります。
管理：評価指標	指標は、組み込みの TimescaleDB 通じて利用可能になります。

## 相互運用性およびコンプライアンス

次の表に、相互運用性の最小レベルを示します。

表 2. 相互運用性

製品ファミリー	サポートされているバージョン	コメント
NSO (Network Services Orchestrator)	V6.0	シスコ提供の NSO アダプタを使用
REST	NA	シスコ提供の REST アダプタを使用

表 3. コンプライアンス

製品ファミリー	サポートされているバージョン	コンプライアンスに関する注意事項
サーバーレスワークフロー仕様	v0.8	部分的に準拠しています。詳細なコンプライアンスステートメントは、ご要望に応じてご利用いただけます。
Swagger	v2.0	
プロトコルバッファ (Protobuf)	v3	部分的に準拠しています。詳細なコンプライアンスステートメントは、ご要望に応じてご利用いただけます。

## ライセンス

Crosswork ワークフローマネージャおよび上記で参照されている基本アダプタは、Cisco Crosswork Essentials の一部としてライセンスされています。この機能セットに追加のライセンスは必要ありません。

Crosswork Essentials ライセンスは期間ベースです。

## モニタリング

### CWM 展開のモニタリング

Crosswork ワークフローマネージャ (CWM) をローカルでモニタリングするための組み込み機能に加えて、以下のインフラストラクチャ コンポーネントが含まれており、外部モニタリングへのインターフェイスを可能にします。

表 4. モニタリング

コンポーネント	バージョン	役割
TimescaleDB	2.9.1-pg15	指標ストレージ
MinIO	2022-12-12T19-27-27Z	ログの保管
Grafana Loki	2.6.1	ログ集約

上記のコンポーネントによって提供されるインターフェイスを使用することにより、お客様は、視覚的表現、管理ビューのカスタマイズ、およびアラーム生成のために、Prometheus および Grafana を介して管理システムに統合できます。

## 保証情報

シスコ製品保証とテクニカルサポートは、そのライセンス期間中、Crosswork Essentials ライセンスに基づいて提供されます。他のコンポーネント (Linux、ハイパーバイザ、ハードウェアなどが含まれますが、それらに限定されません) のサポートについては、それぞれのベンダーから権利およびサポートライセンスを取得する必要があります。

## Crosswork ワークフローマネージャ向けのシスコのサービス

Cisco CX は、お客様が Crosswork ワークフローマネージャを展開し、自動化ワークフローを導入およびカスタマイズし、既存の OSS および BSS システムと統合し、ソリューションを継続的に最適化して、お客様のビジネス成果を実現および加速するための包括的なサービスを提供します。

CX は、事前に構築されたワークフローパッケージと統合を活用してライフサイクルサービスを提供し、お客様が市場投入までの時間を短縮し、一般的に遭遇するビジネス ニーズに対応できるようにします。

これは、トランザクションサービスとして、または Business Critical Services のサブスクリプションの一部として実行できます。

詳細については、<https://www.cisco.com/go/services> [英語] を参照してください。

## 詳細情報

Crosswork ワークフローマネージャの詳細については、[www.cisco.com/go/cwm](https://www.cisco.com/go/cwm) をご確認ください。

## シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。

製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

### お問い合わせ先

#### お電話での問い合わせ

平日 9:00 - 17:00

**0120-092-255**

#### お問い合わせウェブフォーム

[cisco.com/jp/go/vdc\\_callback](https://cisco.com/jp/go/vdc_callback)



©2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2023年6月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
[cisco.com/jp](https://cisco.com/jp)